

県と連携を深めながら、 沖縄の観光振興を進めていきたい。



國場 幸之助 × 鶴保 庸介 × 嘉手苅 孝夫

こくば こうのすけ 衆議院議員。鶴保庸介沖縄後援会顧問 1973年、那覇市生まれ。早稲田大学卒業後、コロンビア大学留学を経て2000年に沖縄県議会史上初の20代議員としてトップ当選。第46回衆議院議員選挙において初当選(12年)し、現在2期目。	つるほ ようすけ 参議院議員。内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策、クールジャパン戦略、知的財産戦略、科学技術政策、宇宙政策、情報通信技術(IT)政策) 1967年、大阪市生まれ。東京大学卒業後、議員秘書を経て98年の第18回参議院議員通常選挙において、当時最年少の31歳で初当選(和歌山県選挙区)。以後4度の当選を重ね、2016年8月より現職。	かでかる たかお 沖縄県文化観光スポーツ部長 1959年、那覇市生まれ。早稲田大学卒業後、沖縄県に入職(83年)。ペンシルバニア大学大学院留学後、シンガポール駐在、OIST、OCVBなどを経て、今年4月より現職。
---	--	---

今回は、國場幸之助衆議院議員にコーディネーターを務めていただき、鶴保庸介沖縄担当大臣と嘉手苅孝夫県文化観光スポーツ部長に沖縄観光についてお話しいただきました。沖縄観光の抱える課題や将来像について興味深いセッションになりました。

順調に推移する沖縄観光

國場 本日は鶴保庸介沖縄担当大臣と、沖縄県文化観光スポーツ部の嘉手苅孝夫部長にお越しいただき、沖縄観光の現状や課題、可能性を中心にお話をお聞きしたいと思えます。鶴保大臣は国土交通行政や沖縄観光の政策全般に高い見識と実績をお持ちですが、あらためて沖縄観光の可能性についてお話しただけまずでしょうか。

鶴保 沖縄の地理的な優位性というのほもちろん言うまでもありませんが、特色のある独自の文化や自然が沖縄観光の大きな武器になっていることは間違いありません。それを前提に、何を強みとしてどこへどのタイミングで発信していくのが大切だと思います。さまざまな情報を計画的に発信していくということですね。また他府県にはない沖縄の大きな強みとして、世界中に広がるウチナーンチュ同士の太く強いネットワークが挙げられます。それも最大限に活用していくべきだと考えています。

國場 戦前の話ですが、県の財政の多くの部

分を海外移民からの送金が占めていた時期もあったようです。今でいう「ふるさと納税」のようなものでしょうか。さて、嘉手苅部長は初代のシンガポール県事務所長を務められたほか、沖縄伝統空手を発信するために空手の黒帯を取得したり、通訳案内士の資格も持っていらっしゃいます。まさに沖縄の観光を体現していらっしゃるわけですが、沖縄観光の課題とは何でしょう。

嘉手苅 ご存じのように沖縄の観光は大変好調で、昨年度の入域観光客数は877万人と4年連続で過去最高の数字を記録しています。インバウンドも同様で、昨年は213万人と初の200万人を超えています。国をはじめとする官民挙げてのプロモーションなどもあり、入域観光客数は順調に増え続けております。こういう状況の中で私たちが課題として認識しているのは、何といっても受け入れ体制の整備です。観光客に沖縄を十分に楽しんでもらいたい満足度を高めてもらい、そしてリピーターになってもらう。そのための仕組みづくり、仕掛けというものがとても重要だと考えております。

伝統空手を世界に発信

國場 鶴保大臣は離島振興や産業イノベーション、交通政策についても高い問題意識を持っていらっしゃいます。嘉手苅部長が話された受け入れ体制を考えると、交通政策は極めて重要な役割を果たしていくものと思います。

鶴保 沖縄には数多くの強みがありますが、観光客を受け入れるためのインフラはかなり遅れています。クルーズ船の停泊するバースや空港などの物的インフラ、交通渋滞を解消するための交通インフラ、そして観光に関わる人材の人的インフラ。これらはかなりの危機感を持って取り組まないと、とてもまずいことになるだろうと思っています。これはどこの地域においてもいえることです。特に沖縄は不足している気がします。今年5月、内閣府では沖縄観光関連の取り組みをさらに加速させ、県の掲げる目標値の達成を後押しするためのアクションプランとして「沖縄観光ステップアップ戦略2017」を策定しました。このプランでは「国としてこんなことを考えています」ということを申し上げているつもりですので、ぜひ県と連携しながら実行していきたいと思っています。

嘉手苅 私が所属する文化観光スポーツ部は、まさに沖縄の伝統文化やスポーツを広く県外・海外に発信しています。先ほど鶴保大臣の挙げられた「強みを生かす」「計画性を持って情報発信をしていく」というキーワードに照らし合わせると、今年3月に落成した沖縄空手会館を含めた伝統空手の存在が挙げられます。現在、愛好家を含めて

空手人口は世界に1億人以上いるといわれています。その中で、伝統空手の発祥の地としての沖縄は大変な強みといえます。世界の空手愛好家が憧れる、まさにオンラインワンとしての沖縄です。私たちはそれをしかり発信して、空手を学びに沖縄を訪れるという流れを作っていく。沖縄空手会館はその象徴でもあります。世界に誇る伝統文化をきっちりと継承していきながら、沖縄観光のツールのひとつとして育てていきたいですね。

最先端の事業を沖縄で

國場 鶴保大臣は大臣就任以来、本当に意欲的に多くの県民と意見を交換されています。そこで、観光を含めた沖縄振興に話を広げていきましよう。沖縄が本土に復帰して半世紀が過ぎましたが、今後を見据えてどのような沖縄にしていきたいと考えていますか。

鶴保 観光も同様ですが、沖縄振興において第一に重要なのが人材育成。地域を支えていくのは一にも二にも人ですから。自然や文化、伝統を守り継承していくのも人ですし、それを活用するのも人です。それを踏まえて、私たちはICTを活用した遠隔授業を通して、離島の児童生徒の学力向上を図る事業のスタートを発表させていただきました。また、世界を先取りするような事例、例えば西普天間住宅地跡地における医療拠点づくりにも積極的に取り組んでいます。これは単に琉球大学医学部が移転するというのではなく、そこにさまざまな産業イノベーションが創出され、そして産業クラスターが集積していく。そんな医療の拠点にしていきたいと思っています。ま

た今年3月から南城市で実施している全国初となる自動走行バスの実証実験にしても、ただ実験をしてそれで終わりではない。公共交通としてこれを最初に根づかせるのが、島嶼県である沖縄というところに大きな意味がある。今後も県民の皆さまのご協力をいただきながら、最先端の事業を沖縄でやっていきたいと思っています。

嘉手苅 今、鶴保大臣から大変心強いお言葉をいただきました。私は観光が県のリーディング産業であるという自信を持っていますし、県経済を引っ張っていくという強い意志もあります。沖縄が日本におけるバイオニアとして世界を目指していくという観点から、先人が持っていた気概を私たちが受け継ぎ、観光そして経済において先進地としてやっていく。国は訪日外国人旅行者数の目標を2020年で4000万人、2030年で6000万人と掲げています。沖縄もそこにきちっと貢献していけるように、どんな海外からの誘客も推進していこうと。そういう思いをあらためて強くしました。

國場 今のお二人の話をお聞きして、沖縄の観光や振興は政府と県の連携が大切だということであらためて実感できました。また、鶴保大臣の後援会が沖縄にできたことで、みなで沖縄のことを考える大きな土俵ができたとも思っております。今後さらに後援会の果たす役割がとて大きくなってくると思いますので、私も顧問としてしっかりコミットしていきたいと思っています。本日はお忙しい中、大変ありがとうございました。

鶴保 こちらこそありがとうございました。嘉手苅とても勉強になりました。ありがとうございます。

大道中央病院 那覇市安里1-1-37 TEL.098-869-0005(代) リハビリテーション部門 TEL.098-869-0050	医療法人 陽心会	社会福祉法人 陽風会	(提携)小規模多機能型ホーム 若狭 那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0550
メディカルプラザ大道中央 那覇市字大道123 TEL.098-886-0007(代) 一般内科部門 TEL.098-886-0115 循環器部門 TEL.098-886-5141 糖尿病部門 TEL.098-886-0115 人工透析部門 TEL.098-886-5151 検診部門 TEL.098-886-0078	那覇市地域包括支援センター 若狭 那覇市若狭2-1-10 TEL.098-863-1165	(提携)デイサービスセンター 若狭海岸 那覇市若狭1-21-1 TEL.098-941-0110	(提携)グループホーム 若狭の家 那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0551
介護老人保健施設 やすらぎの里 那覇市安里3-1-57 TEL.098-869-0030	(提携)福祉用具貸与・販売事業所 那覇市字大道128 TEL.098-885-0100	(提携)デイサービスセンター 大道 那覇市字大道127 TEL.098-886-0066	(提携)小規模多機能型ホーム 辻 那覇市辻1-6-25 TEL.098-951-0070
グループホーム たかまーみの家 那覇市字大道94-3 TEL.098-887-0081	(提携)有料老人ホーム 健寿の杜 那覇市安里3-1-47 TEL.098-941-0070	(提携)有料老人ホーム 大道中央 那覇市字大道127 TEL.098-886-0061	(提携)在宅総合ケアセンター 大道 那覇市安里381-1 TEL.098-885-0030
小規模多機能型ホーム 大道 那覇市字大道94-3 TEL.098-885-0018	(提携)有料老人ホーム 松風邸 那覇市辻2-10-14 TEL.098-869-8557	(提携)デイサービスセンター 若狭 那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-6122	ケアハウス 常夏の島 那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0036
グループホーム 大道が丘 那覇市字大道94-3 TEL.098-885-0036	(提携)ヒルズガーデン那覇 那覇市若狭3-5-17 TEL.098-885-0300	(提携)有料老人ホーム 若狭 那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-0087	小規模多機能型ホーム 牧志 那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0025
小規模多機能型ホーム 三原 那覇市三原2-8-10 TEL.098-840-0027	(提携)デイサービスセンター 松川 那覇市字松川20-1 TEL.098-885-0300	(提携)有料老人ホーム 若狭別館 那覇市若狭2-5-12 TEL.098-863-3320	那覇市末吉老人福祉センター 那覇市首里末吉町2-14 TEL.098-886-3510
			那覇市壺川老人福祉センター 那覇市壺川2-3-11 TEL.098-853-1139
			那覇市辻老人憩の家 那覇市辻2-14-1 TEL.098-864-0580